TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA

地上･BS･110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ

Z1S

かんたんガイド

もくじ

※録画には別途USBハードディスクが必要です。

- 本書は別冊の「準備編」と「操作編」の内容を簡略化したものです。必要に応じてそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- ご使用の前に、別冊「準備編」に記載された「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、別冊「操作編」の「困ったときは」をご覧ください。

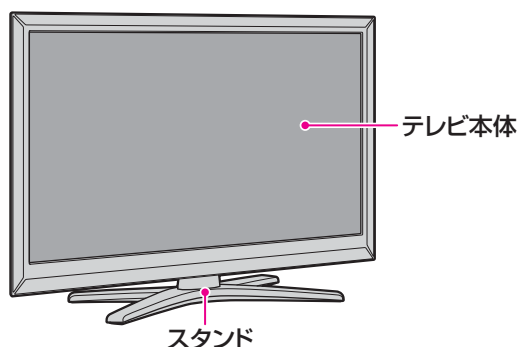
このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に本書および別冊の取扱説明書「準備編」と「操作編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

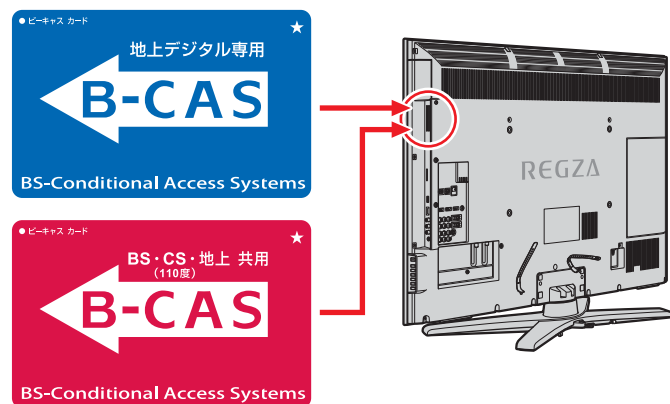
テレビを見る準備をする

お願い　ー安全に正しく使用するためにー

- 別冊取扱説明書「準備編」に「安全上のご注意」を記載しています。設置・接続の前に必ずお読みください。
- 別冊取扱説明書「準備編」に「ご使用上のお願いとご注意」、「たいせつなお知らせ」を記載しています。ご使用の前にお読みください。
- 別冊取扱説明書「準備編」の「テレビを設置する」のページに、設置のしかたや転倒・落下防止のしかたを記載しています。設置のときにお読みください。

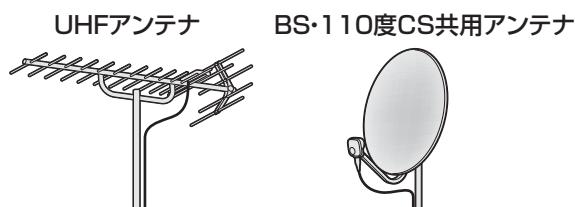
① スタンドを取り付ける

- お買い上げ時、スタンドが分離されています。
付属の「スタンド取付説明書」を参照して、スタンドをテレビ本体に取り付けてください。

② B-CASカードを挿入する

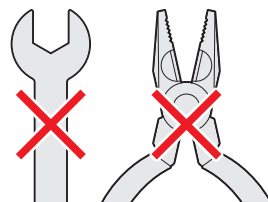
- **デジタル放送の受信にはB-CASカードが必要です。**
付属の「B-CASカード取付説明書」を参照して、同梱のB-CASカード2枚を、テレビ本体右側面のB-CASカード挿入口に差し込んでください。

カードの挿入位置や向きについては、「B-CASカード取付説明書」をご覧ください。

③ アンテナを接続する

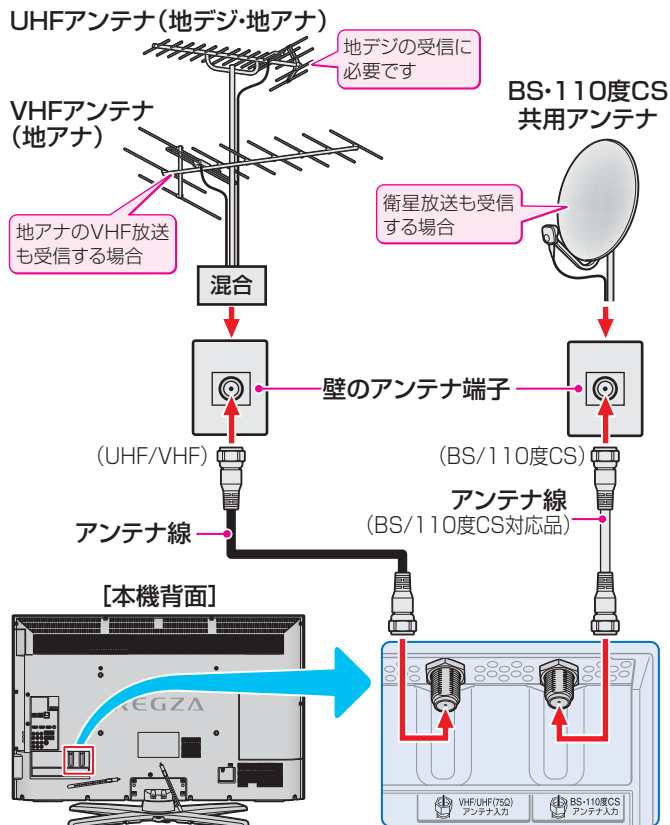
本機が受信できる放送と必要なアンテナ

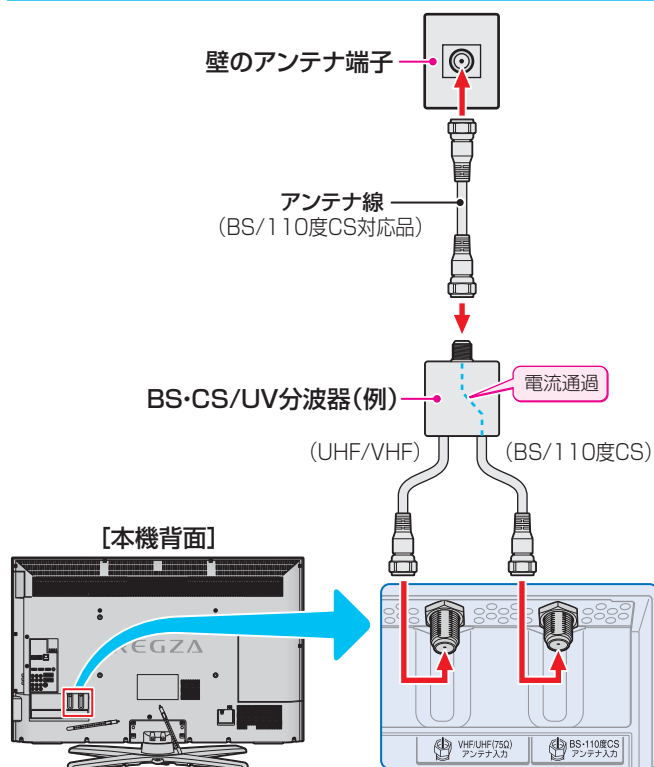
- 本機（このテレビ）は、従来の地上アナログ放送のほかに、地上デジタル放送、衛星デジタル（BS/110度CS）放送を受信することができます。
  - ◆ 地上デジタル放送の受信にはUHFアンテナ、衛星デジタル放送の受信にはBS・110度CS共用アンテナが必要です。

- 本機は地上デジタル放送の「CATVパススルー方式」に対応しています。
ケーブルテレビ局が、放送局から送信される地上デジタル放送電波をパススルー方式で再送信していれば、本機で地上デジタル放送を視聴することができます。

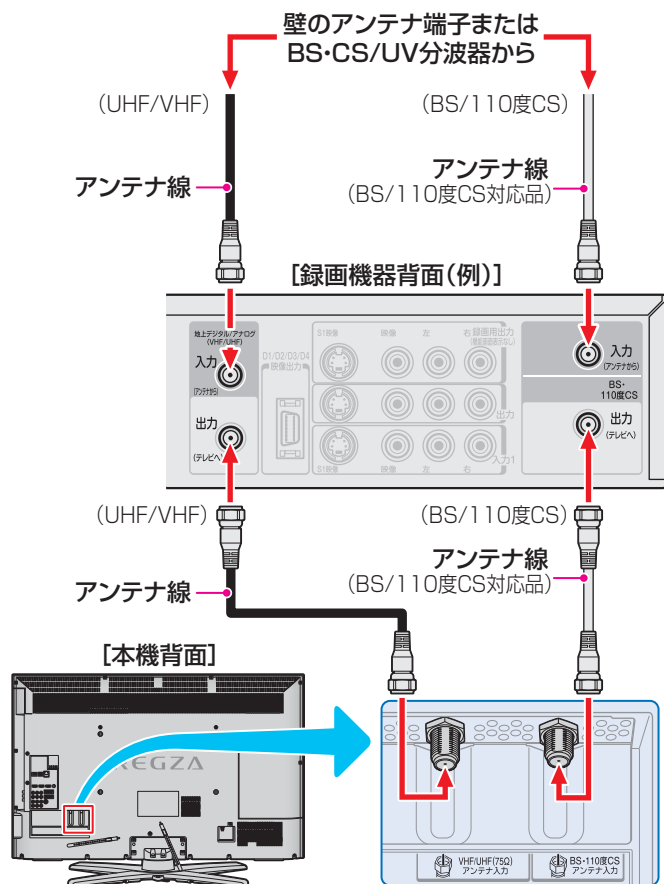
お願いとご注意

- アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）、混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。
- **アンテナ工事には技術と経験が必要です。**
アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店などにご相談ください。
- **アンテナ線のプラグ（F型コネクター）は、ゆるまない程度に手で締めつけてください。**
工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機内部が破損するおそれがあります。

- **アンテナ線のプラグの芯線（ピン）が曲がっていないか確認してください。**
曲がったままで接続すると、ショートしたり、折れたりすることがあります。

- テレビの外観や細部の構造・配置などは、機種によって本書のイラストと多少異なります。

アンテナをテレビだけに接続する場合

壁のアンテナ端子が一つの場合

- 地上放送と衛星放送のアンテナが屋外などで混合されていて、壁のアンテナ端子が一つの場合は、BS・CS/UV分波器を使用します。
- マンションや共聴システムなどで壁のアンテナ端子が一つの場合は、視聴できる放送の種類について、マンションやシステムの管理者にお問い合わせください。

録画機器（BDレコーダーなど）を経由する場合

- アンテナで受信した放送をBDレコーダーなどの録画機器で録画する場合は、アンテナ線を以下のように接続します。

※「はじめての設定」6 ～ 8 をしてもテレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないでアンテナ線を本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機に問題はありません。
※直接接続しても映りが悪いなどの場合は、アンテナや接続状態に問題があるか、電波が弱いことなどが考えられます。「デジタル放送が正しく受信できないとき」14 をご覧ください。

テレビを見る準備をする

CATV（ケーブルテレビ）をご利用のとき -1

- CATVホームターミナルによっては端子の名称が図の例とは異なる場合があります。接続方法や、地上デジタル放送の視聴についてなど、詳しくはご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。
- ケーブルテレビ局が独自の方式で送信している放送を見るには、ホームターミナルの映像・音声出力端子などと本機のビデオ入力端子を接続します。（視聴する番組は、ホームターミナルで選びます）

※ **本機のビデオ入力端子やHDMI入力端子に接続して視聴する番組では、本機の番組表機能や録画機能、予約機能などは使用できません。**

ケーブルテレビ局から
（地デジパススルー）

壁のCATV端子

アンテナ線

CATVホームターミナル（例）

黄 映像 / 白 左 音声 / 赤 右 / 出力1 / 出力2 / ケーブル入力 / ケーブル出力

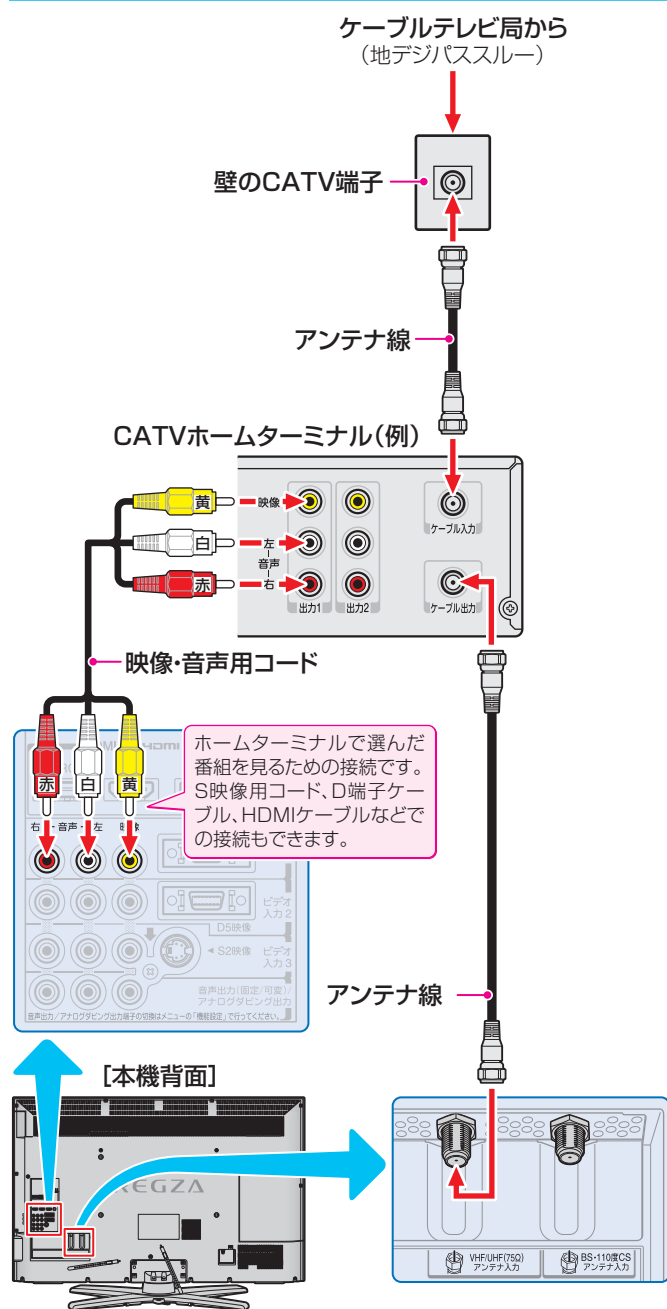
映像・音声用コード

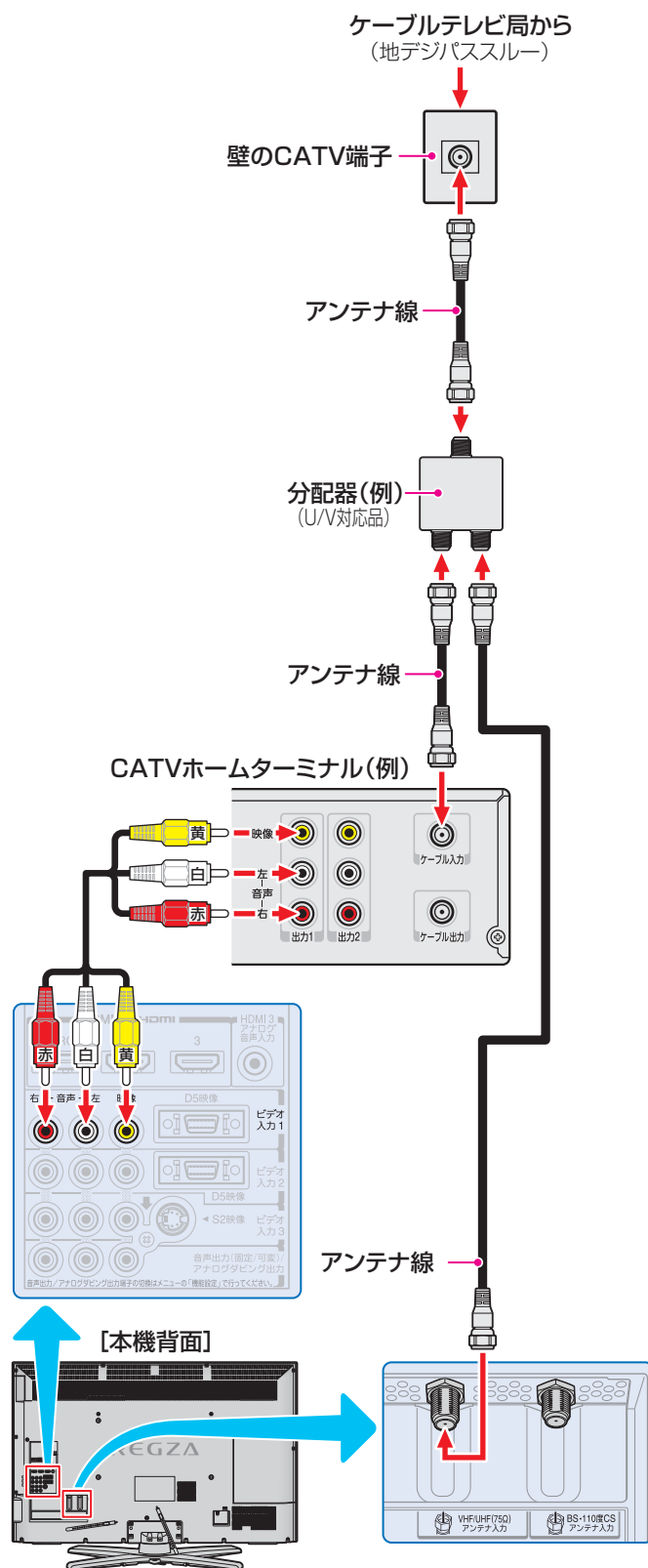
赤 白 黄

ホームターミナルで選んだ番組を見るための接続です。S映像用コード、D端子ケーブル、HDMIケーブルなどでの接続もできます。

アンテナ線

［本機背面］

VHF/UHF(75Ω) アンテナ入力 / BS・110度CS アンテナ入力

CATV（ケーブルテレビ）をご利用のとき -2

- ケーブル出力端子に地デジの再送信電波が出力されないホームターミナルの場合は、UHFに対応した市販の分配器を使用して、以下のように接続してください。

- CATV局がパススルー方式で地上デジタル放送を再送信していれば、「はじめての設定」 6 ～ 8 をしたときに地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。

④ リモコンに乾電池を入れる

● 単四形乾電池R03またはLR03を2個ご使用ください。
お買い上げ時は単四形乾電池R03が2個付属されています。

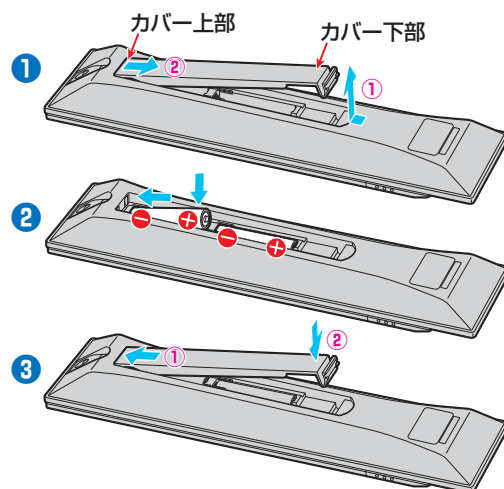
❶ 乾電池カバーをはずす

カバー下部の▭部分をカバー上部方向に押しながらすくい上げ、カバーを取りはずします。

❷ 乾電池を入れる

極性表示⊕と⊖を確かめて、間違えないように入れます。

❸ 乾電池カバーを閉める

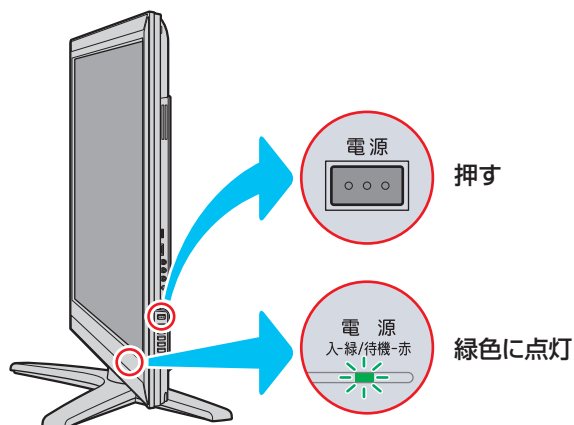
カバー上部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまでカバー下部を押し込みます。

⑤ 電源を入れる

● 電源は、設置・接続が終わってから入れてください。

❶ 電源プラグをコンセントに差し込む

● 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

❷ 本体右側面の電源ボタンを押す

● 電源がはいり、本体前面の「電源」表示が緑色に点灯します。

● もう一度本体の電源ボタンを押すと、電源が「切」になり、「電源」表示が消灯します。

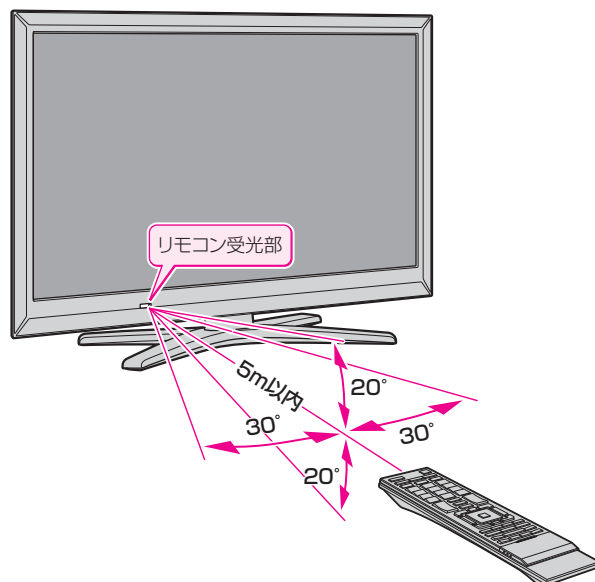
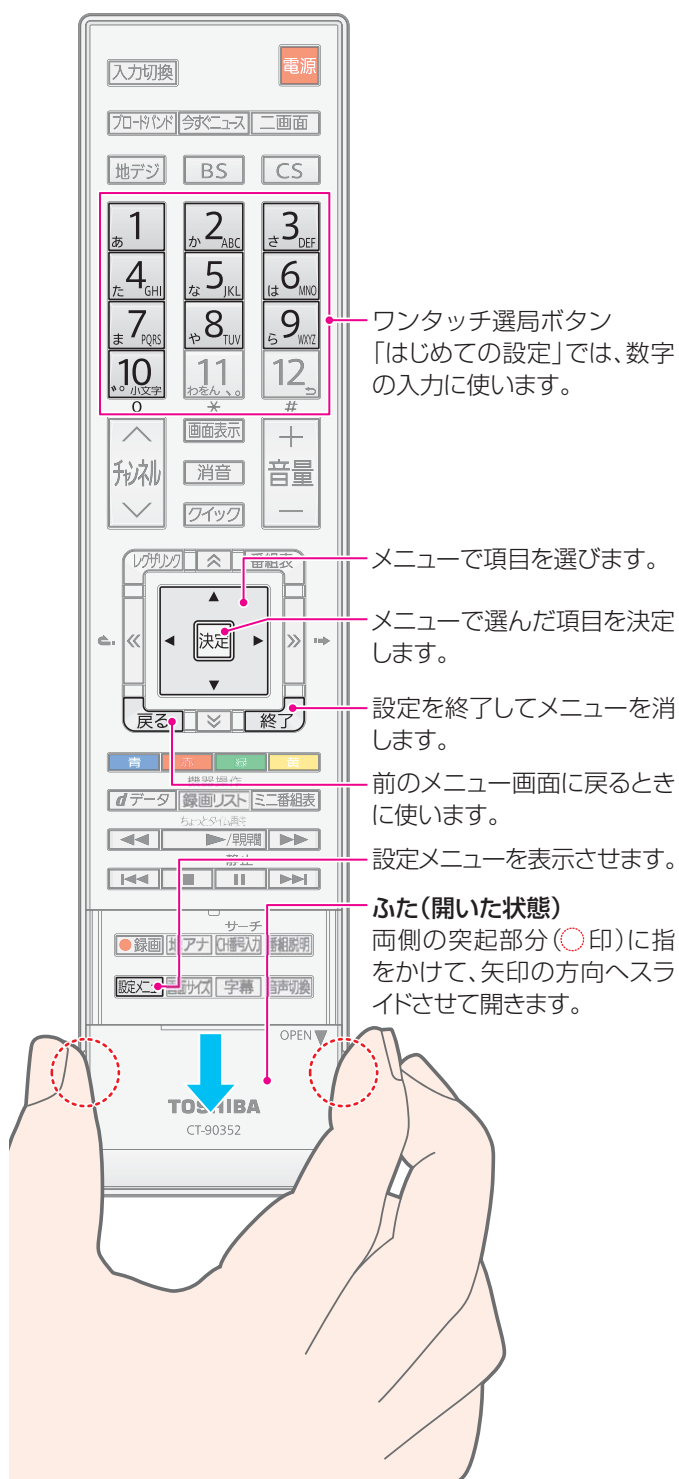
はじめて電源を入れたとき

● 「はじめての設定」の画面が表示されます。
次ページ以降の手順に従って設定してください。

リモコンで電源を入/待機にするには

● 電源「入」のときにリモコンの[電源]を押すと電源が「待機」になり、「電源」表示が赤色に点灯します。
● 「待機」のときにリモコンの[電源]を押すと電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。

リモコンの使用範囲について

● リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。
● リモコン受光部に強い光を当てないでください。強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
● リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。

※ **本体の電源ボタンで電源を切っているときは、リモコンで電源を入れることはできません。**
電源が「切」のときは、「電源」表示が消えています。

⑥「はじめての設定」をする

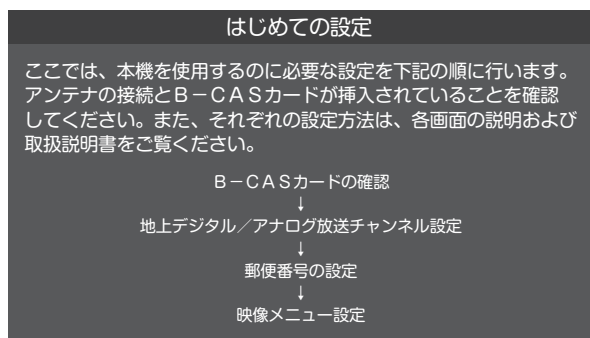
- 地上デジタル放送や地上アナログ放送を視聴するために必要な設定をします。

※ はじめて電源を入れたときは、手順❶の操作は不要です。

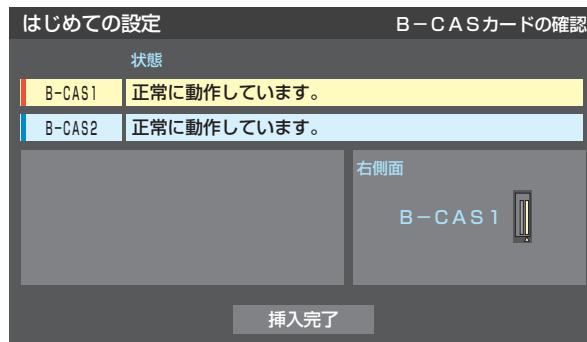
❶ 以下の操作で「はじめての設定」の画面にする

① 設定メニュー（ふたの中）を押す

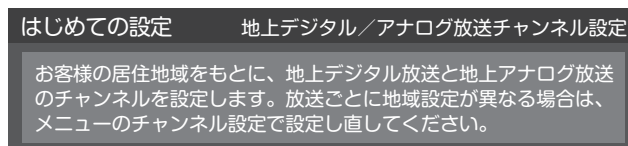
② ▲･▼で「初期設定」を選び、決定を押す

③ ▲･▼で「はじめての設定」を選び、決定を押す

B-CASカードの確認

❷ 画面の説明を読んだら、決定を押す

- 「B-CASカードの確認」の画面が表示されます。

- 正しく挿入されていないなどの不具合がある場合は、メッセージが表示されます。その場合は、「B-CASカード取付説明書」を参照して、2枚のカードの挿入位置と向きが正しいか、奥まで挿入されているかなどを確認してください。

❸ 2枚とも「正常に動作しています。」と表示されたら、▲･▼で「挿入完了」を選んで決定を押す

- B-CASカードの確認が終わると、「地上デジタル/アナログ放送チャンネル設定」の説明画面が表示されます。

地上デジタル／アナログ放送チャンネル設定

- 地上デジタル放送と地上アナログ放送のチャンネルを設定します。同時にデータ放送の地域も設定されます。

❹ 画面の説明を読んだら、決定を押す

- 地方を選ぶ画面が表示されます。

❺ お住まいの地方を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

お住まいの地方を選んでください。

北海道	東北	関東
甲信越	中部	近畿
中国	四国	九州・沖縄

❻ お住まいの都道府県を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

お住まいの都道府県を選んでください。

茨城県	栃木県	群馬県
埼玉県	千葉県	東京都
神奈川県		

❼ お住まいの地域を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

お住まいの地域を選んでください。

２３区	八王子	多摩

- お住まいの地域名が表示されないときは、近くの地域名を選びます。

❽ 画面の説明を読み、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

※ お住まいの地域で地上デジタル放送が運用されていない場合は、「いいえ」を選んでください。（わからない場合は、「はい」を選んでください）

例

- 「はい」を選ぶと初期スキャンが自動的に始まります。終了するまでお待ちください。（初期スキャンが終了すると、手順❾の画面が表示されます）
- 「いいえ」を選んだ場合は、手順❿に進みます。

❾ 地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認し、決定を押す

- 画面は、リモコンのワンタッチ選局ボタンに設定された地上デジタル放送の放送局を一覧で示しています。

例

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	ＮＨＫ総合・東京
2	テレビ	ＮＨＫ教育・東京
3	テレビ	テレ玉
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	ＴＢＳ
7	テレビ	テレビ東京
8	テレビ	フジテレビジョン
9	テレビ	ＴＯＫＹＯ ＭＸ
10	テレビ	
11	テレビ	
12	テレビ	放送大学

- 「チャンネル」の欄の「テレビ」は、テレビ放送チャンネルが設定されたことを意味します。（データ放送チャンネルなどは設定されていません）
- 地上アナログ放送については、あらかじめ地域ごとに本機内に組み込まれたチャンネルが設定されます。

- 設定された内容を変更したい場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「チャンネルをお好みに手動で設定する」（別冊「準備編」40）の操作をしてください。
- 地上デジタル/地上アナログ放送チャンネル設定が終わると、「郵便番号設定」の画面が表示されます。

郵便番号の設定

- お住まいの地域に密着したデータ放送（地域の天気予報やニュースなど）を視聴するための設定です。
- 郵便番号を設定することで、地域が指定されます。

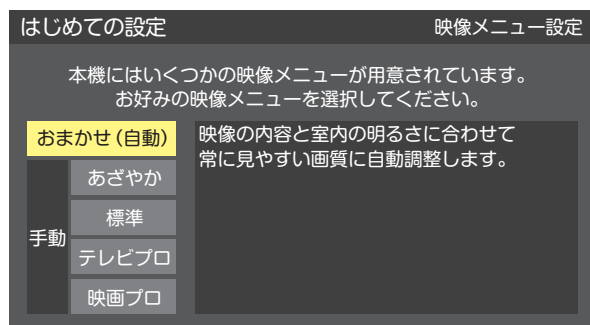
❿ お住まいの地域の郵便番号を1～10(0)で入力し、決定を押す

- 「0」は10で入力します。
- 間違えて入力したときは、◀を押してカーソルを戻してからもう一度入力します。
- 郵便番号入力で、上3ケタを入力して決定を押すと残りの4ケタは自動的に「0」が入力されます。

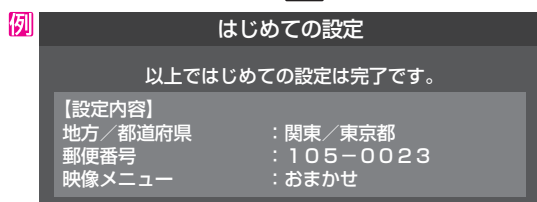
例

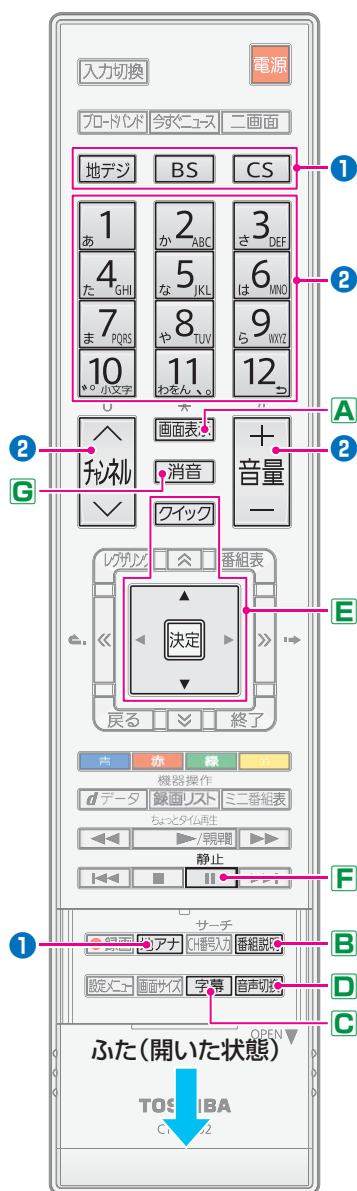
映像メニュー設定

- 本機にはいくつかの「映像メニュー」が用意されています。メニューを選択したときに表示される画面の説明を読んで、お好みの映像メニューに設定してください。

⓫ お好みの映像メニューを▲･▼で選び、決定を押す

- 映像メニュー設定が終わると、「はじめての設定」の完了画面が表示されます。

⓬ 設定内容を確認して、決定を押す

例

- これで「はじめての設定」は終了です。

テレビ番組を楽しむ

❶ 地デジ、BS、CS、地アナ（ふたの中）で放送の種類を選ぶ

- 視聴中の放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

❷ 1～12または チャンネル でチャンネルを選ぶ（選局する）

- 音量は、音量 でお好みに調節してください。

A 見ている放送の番組名やチャンネルなどを確認するには

- 地上アナログ放送では、番組に関する情報は表示されません。

① 画面表示 を押す（もう一度 画面表示 を押すと表示が消えます）

- 画面右上に情報が表示されます。（チャンネル以外の表示は数秒後に消えます）

放送の種類、チャンネル番号　放送局
リモコンボタン番号　現在時刻
番組名　放送時間

B 番組説明を見るには（デジタル放送のみ）

① 番組説明（ふたの中）を押す

- 番組説明画面が表示されます。
- <番組概要>が表示しきれていないときは▲･▼を操作します。
- 説明画面を消すには、決定 を押します。

C 字幕放送番組で字幕が表示されるようにするには（デジタル放送のみ）

① 字幕（ふたの中）を押す

- 字幕 を押すたびに字幕の表示と非表示が交互に切り換わります。

D 音声多重放送番組で音声を切り換えるには

① 音声切換（ふたの中）を押す

- 音声切換 を押すたびに「主音声」→「副音声」→「主：副」の順に切り換わります。
- 番組によっては、「音声1」→「音声2」→「音声3」 のように切り換わる場合もあります。

E 映像メニューを切り換えるには

① クイック を押し、▲･▼で「映像設定」を選んで 決定 を押す

② ▲･▼で「映像メニュー」を選んで 決定 を押す

③ お好みの「映像メニュー」を▲･▼で選んで 決定 を押す

F 映像を静止させるには

- 料理番組のレシピや、クイズ番組の応募先などをメモするときに便利です。

① 静止 を押す（もう一度 静止 を押すと静止画が解除されます）

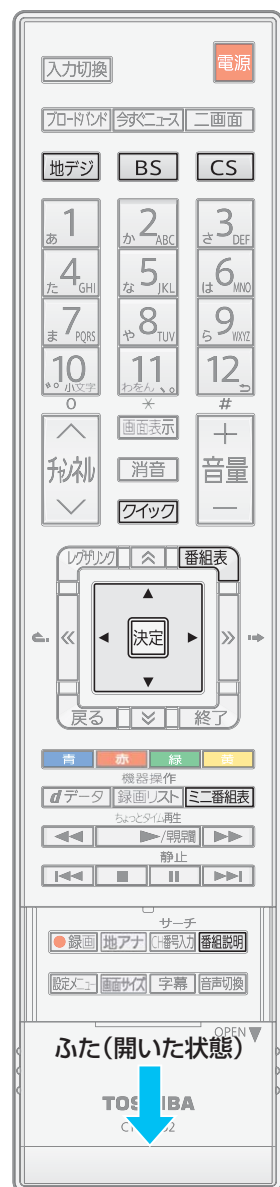
G 音を一時的に消すには

- 電話がかかってきたときなどに、一時的に音を消すことができます。

① 消音 を押す（もう一度を 消音 を押すと音が出ます）

- 地上デジタル放送や地上アナログ放送で 1～12 で選局できるのは、「はじめての設定」で各ボタンに登録されたチャンネルです。
- BSデジタル放送では、1～12 にBSデジタルの各チャンネルの放送局が設定されています。
- 110度CSデジタル放送では、一部のチャンネルが設定されています。（1 と 2 のみ）
- 設定の変更や追加をする場合は、別冊「準備編」の「チャンネルをお好みに手動で設定する」40 を参照してください。

見たい番組を番組表で選ぶ

- デジタル放送では、放送電波で送られてくる番組情報をもとにして番組表を表示させることができます。
- ご使用開始直後は番組表の内容が表示されないことがあります。

❶ 番組表（または ミニ番組表）を押す

- 番組表（またはミニ番組表）が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CS を押します。

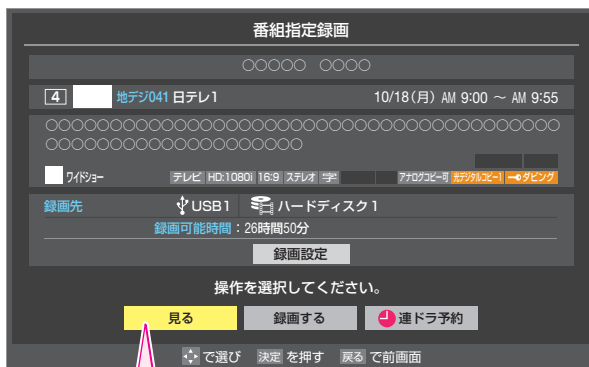
❷ 放送中の番組を▲·▼·◀·▶で選ぶ

- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには «·» を押します。
- 選んだ番組の番組説明を見るには、番組説明（ふたの中）を押します。

❸ 決定を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。
➡ 12 の手順❸をご覧ください。

❹ ◀·▶で「見る」を選び、決定を押す

※ 画面の図はUSBハードディスクが接続されている場合の例です。

- 選んだ番組の放送画面になります。

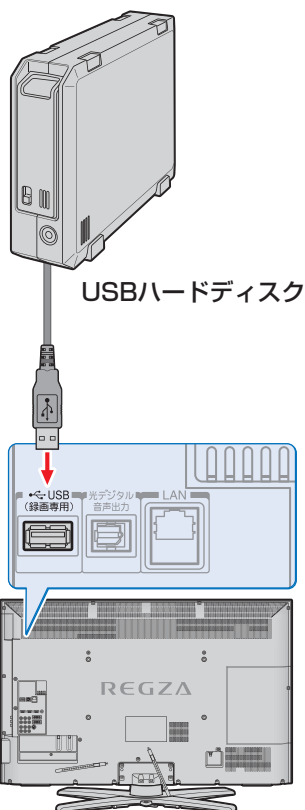
番組表の文字サイズを大きくする

① クイック を押し、▲·▼で「文字サイズ変更」を選んで 決定 を押す

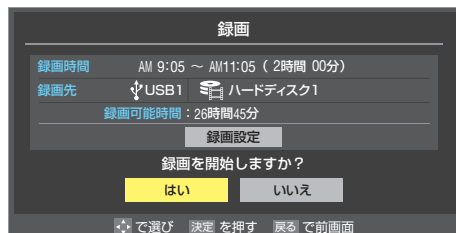
② お好みの文字サイズを▲·▼で選び、決定 を押す

[番組表画面：7チャンネル表示の例]

見ている番組を録画する

本機にUSBハードディスクを接続すると、「機器登録」の画面が表示されます。
画面に表示される手順に従って操作をすれば、USBハードディスクが本機に登録されます。

- 市販のUSBハードディスクを本機に接続すれば、本機で受信したデジタル放送番組を録画することができます。（USBハードディスクの接続および登録について、詳しくは別冊「準備編」の 46☞ ～ 48☞ をご覧ください）
- 視聴中の番組を録画する場合は、以下の操作をします。

❶ デジタル放送を見ているときに ●録画 （ふたの中）を押す

- 「録画」画面が表示されます。

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

- 録画が始まります。
- お買い上げ時は、録画される時間が2時間に設定されています。

❸ 録画を停止させるときは、■または終了を押す

- 確認画面が表示されます。◀·▶で「はい」を選んで決定を押します。
- 録画された番組を見たり消したりするときの操作については、「録画した番組を見る・消す・保護する」13☞ をご覧ください。

録画時間を変更するには

① 上記の手順❷で、▲·▼で「録画設定」を選んで決定を押す
② ▲·▼で「録画時間」を選び、決定を押す
③ ◀·▶で「時」、「分」の欄を選び、▲·▼で終了時刻を設定し、決定を押す
④ ▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す
⑤「録画」画面で、▲·▼·◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

ちょっとタイム再生

- テレビを見ているときに不意の来客があったり、電話がかかってきたりしてテレビの前から一時的に離れなければならないときなどに便利です。

※ すでに録画中のときには、この操作はできません。

❶ テレビの前から離れるときに ●録画 （ふたの中）を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❸ テレビの前に戻ったら、ちょっとタイム再生 ▶/早見早聞 を押す

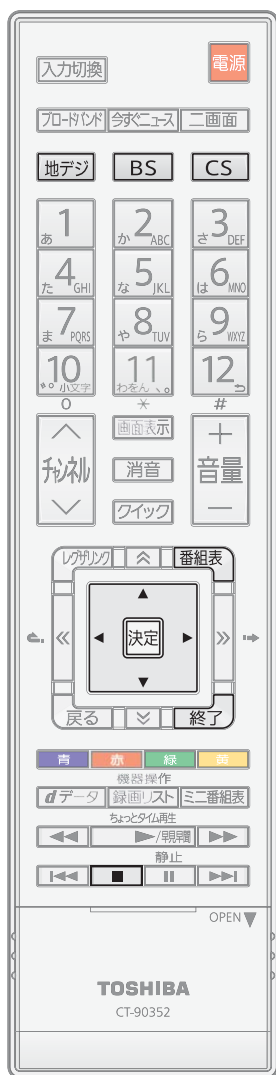
- 録画を始めたところから番組再生が始まります。
- 再生中に早送りや、1.5倍速の音声付再生（早見早聞）などができます。13☞

❹ ちょっとタイム再生を停止させるときは、終了を押す

- 早送り再生の操作をするなどで放送中の場面に追いつき、放送画面のほうを見る場合は録画を停止させます。
- 録画された番組をあとで見たり、消したりするには、「録画した番組を見る・消す・保護する」13☞ の操作をします。

ふた（開いた状態）

- 視聴中の番組や予約した番組の録画時および録画番組の再生時などに、USBハードディスクの電源が「入」になるようにしてください。詳しくは、USBハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

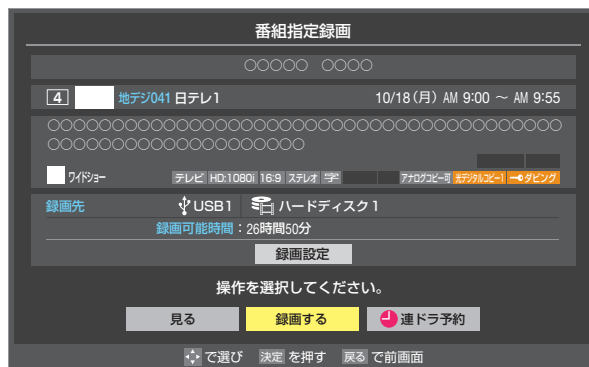
番組表で録画・予約をする

❶ 番組表 を押す

● 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CS を押します。

❷ 録画する番組を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す

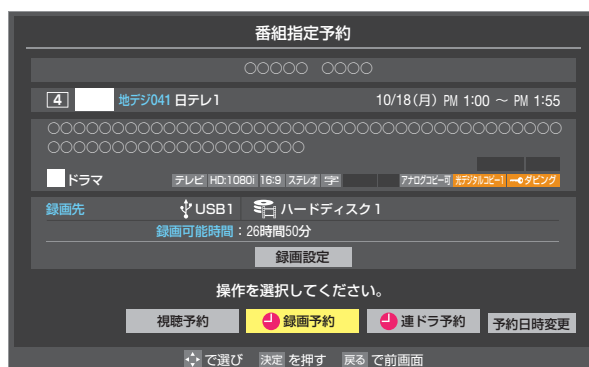
❸ 以下の操作で録画または予約をする

現在放送中の番組を選んだ場合（録画）

① ▲･▼･◀･▶で「録画する」を選び、決定 を押す

● 選んだ番組の録画が始まり、番組が終わると録画が自動的に止まります。

● 始まった録画を中止するときは、■ または 終了 を押します。

これから放送される番組を選んだ場合（予約）

① ▲･▼･◀･▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定 を押す

● **視聴予約**……選んだ番組の視聴を予約します。予約した番組の開始時刻に本機の電源が「入」になっていれば、予約した番組に切り換わります。

● **録画予約**……選んだ番組の録画を予約します。

● **連ドラ予約**…１回の予約で連続ドラマなどを毎回録画することができます。

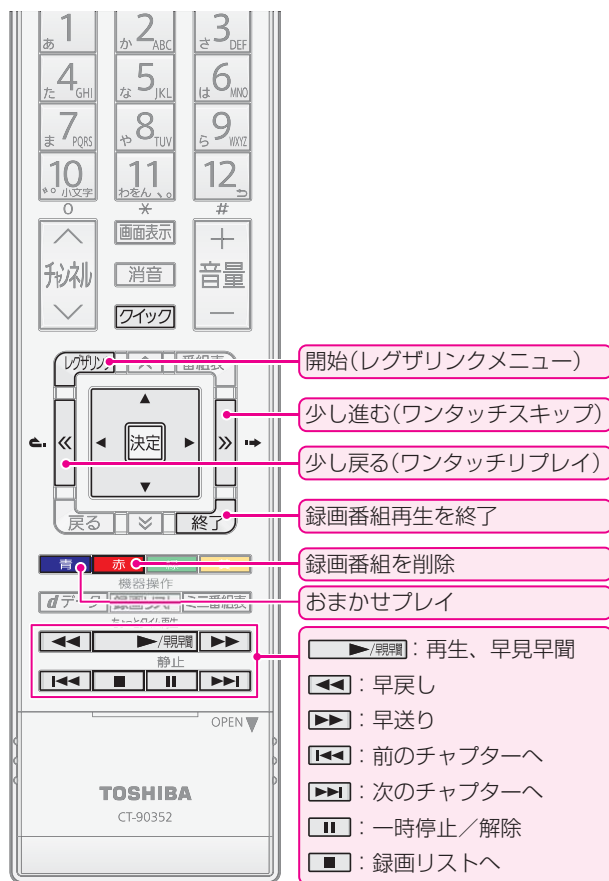
● 「連ドラ予約」の場合は、追跡キーワードなどの見直しが必要な場合があります。詳しくは別冊「操作編」の「連続ドラマを予約する」36 をご覧ください。

● **予約した録画は、本機の電源が「待機」、「切」の場合にも行われます。**

● 予約が重複したときなどには画面にメッセージが表示されます。別冊「操作編」35 の「番組表で録画・予約する」をご覧ください。

● 「録画設定」については、別冊「操作編」42 の「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」をご覧ください。

● 予約の確認・取消については、別冊「操作編」43 の「予約の確認・変更・取消しをする」をご覧ください。

録画した番組を見る・消す・保護する

自動的に消す ～自動削除機能～

- お買い上げ時は、ハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。
- 自動削除機能を使用しないときは、「削除しない」に設定してください。

❶ 録画リストの表示中にクイックを押し、▲・▼で「自動削除設定」を選んで決定を押す

❷ ▲・▼で「削除する」または「削除しない」を選び、決定を押す

録画した番組を見る

❶ レグザリンクを押す

- レグザリンクメニューが表示されます。

❷ ▲・▼で「録画番組を見る」を選び、決定を押す

- 録画リストが表示されます。
- 機器が複数接続されている場合は「機器選択」の画面が表示されます。その場合は使用する機器を選びます。

❸ 見たい番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
  途中まで見た番組を選ぶと、続きから再生されます。冒頭から見るにはクイックを押し、「頭出し再生」を選びます。
- 「CM」、「重複」のチャプターがある番組を選んで青を押すと、それらを飛ばして再生できます。（おまかせプレイ）
- 録画中の番組を選んで再生することもできます。
- 録画番組再生中に早送りなどの操作ができます。（左記）
- 録画リストに戻るには、■を押します。

❹ 「録画番組を見る」を終了するときは、終了を押す

- 放送画面などに戻ります。

不要な録画番組を消す

❶ 録画リストで、消す番組を▲・▼で選んで赤を押す

❷ ▲・▼で「1件削除」を選び、決定を押す

❸ 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで決定を押す

❹ 削除が完了したら、決定を押す

- 複数の番組を選んで消したり、グループ内の録画番組をすべて消したりすることができます。別冊「操作編」の49をご覧ください。

消さないように保護する

❶ 録画リストで、保護する番組を▲・▼で選んでクイックを押す

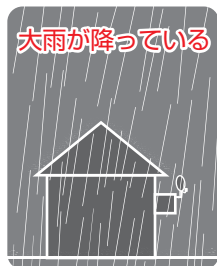
❷ ▲・▼で「保護」を選び、決定を押す

- もう一度同じ操作をして保護を解除することもできます。

［録画リスト（例）］

こんな場合は故障ではありません

BSや110度CSが映らなくなった

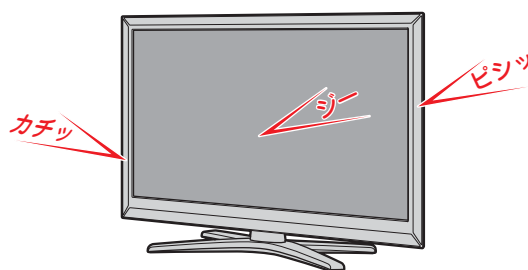
- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

アンテナ接続か受信環境に問題があるため、ご覧になれません。
ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。
青 ボタンでアンテナレベルをご確認ください。

コード ： E202

現在放送されていません。

コード ： E203

テレビから気になる音が聞こえた

- 電源が「切」や「待機」のとき、番組情報取得などの動作を開始する際に「カチッ」という音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。
- 部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」というきしみ音がすることがあります。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

デジタル放送が正しく受信できないとき

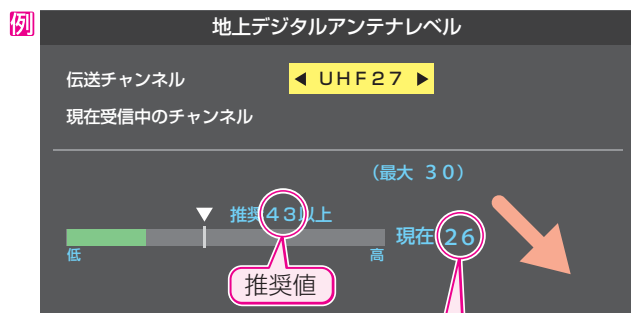
- 正しく受信できないチャンネルで以下の操作をして、アンテナレベルの数値を確認してください。（地上デジタル放送のチャンネルが全く設定されなかった場合は、別冊「準備編」の 36 をご覧ください）
- 録画機器を経由してアンテナ線を接続している場合は、アンテナ線を本機に直接接続してみてください。

❶ クイック を押す

❷ ▲・▼で「その他の操作」を選び、決定 を押す

❸ ▲・▼で「アンテナレベル表示」を選び、決定 を押す

- 選択中のチャンネルのアンテナレベルが表示されます。

例

❹ アンテナレベルを確認したら、終了 を押す

アンテナレベルが目安以下のとき

- アンテナレベルが低いと、デジタル放送が受信できなかったり、下図のようなブロック状のノイズが見えたりすることがあります。このような場合は、アンテナ線が正しく接続されているかご確認ください。症状が改善されない場合は、アンテナの方向調整や交換などが必要になることが考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

地デジ用アンテナの交換・調整などをしたとき

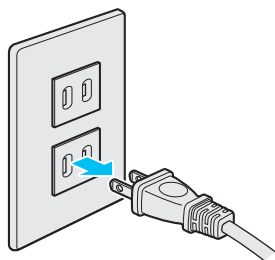
- 地上デジタル放送用アンテナの接続をし直したり、アンテナの交換、調整などの対処をした場合は、「はじめての設定」6 の手順❶から操作をしてください。

症状に合わせてご確認ください

● 以下は代表的な事例です。別冊「操作編」の「困ったときは」もご覧ください。

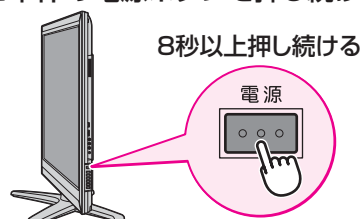
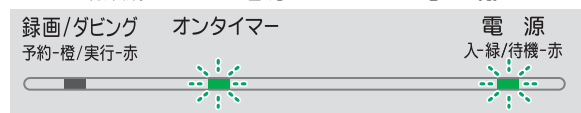
こんなとき	確認・対処
● 電源がはいらない	● 電源プラグが抜けていたら、コンセントに差し込みます。
	● 「電源」表示ランプが消えていたら、本体の電源ボタンで電源を入れます。 ※「電源」表示ランプが消えているとき、リモコンで電源を入れることはできません。
● リモコンが動作しない	● 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物があるときは取り除きます。
	● リモコンの乾電池の向きを確認して、正しく入れます。
	● リモコンの乾電池が消耗しているときは、2個とも新しい乾電池に交換します。
● 放送の映像が出ない	● アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。
	● アンテナ線プラグの芯線(ピン)が曲がっていたり、折れていたりしていませんか。
	● CATVの場合はご契約のCATV会社に、共聴システムの場合は管理者に、地上デジタル放送のパススルー方式に対応しているか、お問い合わせください。
● 画面が暗い ● 暗くなるときがある	● 明るい部屋では、映像メニューを「あざやか」や「おまかせ」に設定してみます。 9
	● 映像メニューが「おまかせ」の場合は、色温度センサーの前にある障害物を取り除きます。(色温度センサーは、リモコン受光部 5 と同じ場所にあります)
● 番組表に内容が表示されない	● 電源プラグをコンセントから抜いたままにしておくと、表示されなくなることがあります。
	● 番組表画面の表示中に、クイックメニューで「番組情報の取得」の操作をします。
	● 地上アナログ放送やビデオ入力端子に接続したCATV放送は番組表が利用できません。
● 番組表の文字が小さい	● 番組表画面の表示中に、クイックメニューで「文字サイズ変更」の操作をします。 10

テレビが操作できなくなった場合ーテレビをリセットする

リセットのしかた

❶ 電源プラグをコンセントから抜く

❷ 1分以上待ってから、電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

操作で対処したいとき

❶ テレビ本体の電源ボタンを押し続ける

❷ 本体前面の「オンタイマー」と「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す

● しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動を行いました。」が表示されます。

※ USBハードディスクが接続されている場合、リセットの操作をするとUSBハードディスクでの録画・予約・再生ができるようになるまでしばらく時間がかかることがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

www.toshiba.co.jp/regza

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp）をご参照ください。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】365日／9:00~20:00

メモ

形名		製造番号	

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）

フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クローナシ）

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、

03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）

ナビダイヤル **0570-05-5100**

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、上記の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

保証書（別添）

● 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から１年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

● 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

● 「操作編」の「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

項目	内容
品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	37Z1S
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　―

廃棄時にご注意願います

● 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？

● 電源を入れても映像や音が出ない。
● 映像が時々、消えることがある。
● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
● 電源を切っても、映像や音が消えない。
● 内部に水や異物がはいった。

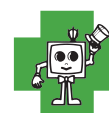
ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

株式会社 東芝

ビジュアルプロダクツ社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

● この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

TD/D　VX1A00194300